

「第8回北海道高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議」 次第

〔 令和4年4月27日（水）14:00～
テレビ会議室 〕

1 開 会

2 協議事項

（1）防疫措置の実施状況及び今後の対応について

（2）その他

3 本部長からの指示事項

4 閉 会

高病原性鳥インフルエンザの防疫対応について

資料1

発生農場の防疫

通行制限

○発生場所のバイオセキュリティの確保

家きんの殺処分

○炭酸ガス及び薬剤を使用

汚染物品処理

埋却

○埋却、堆肥化、一定期間封じ込め等

消毒(1回目)

○消毒薬噴霧、消石灰散布

農場防疫措置完了

○約1週間ごとに2回消毒実施

21日経過後

制限区域を含めた防疫措置の終了



白老農場



4月27日
農場の消毒
(1回目)完了

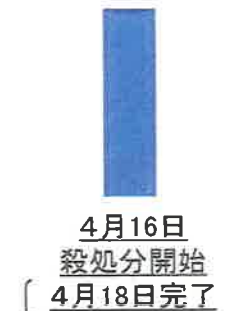
4月27日
農場防疫措置
完了

5月5日(消毒2回目)

5月13日(消毒3回目)

5月19日
防疫措置
終了予定

網走農場



4月20日
農場の消毒
(1回目)完了

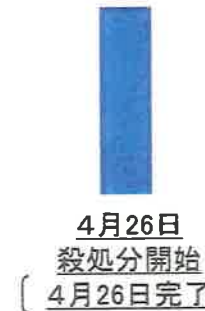
4月20日
農場防疫措置
完了

4月28日(消毒2回目)

5月6日(消毒3回目)

5月12日
防疫措置
終了予定

釧路農場



4月27日
農場の消毒
(1回目)完了

4月27日
農場防疫措置
完了

5月5日(消毒2回目)

5月13日(消毒3回目)

5月19日
防疫措置
終了予定

高病原性鳥インフルエンザの防疫作業に従事された方へ

【高病原性鳥インフルエンザについて】

高病原性鳥インフルエンザは、ごくまれに人に感染することがありますが、今回の防疫作業ではPPE（感染防護具）を着用しておりますので、まずその心配はありません。

これまで海外で報告されている例は、鳥と濃厚な接触がある場合に限定され、多量のウイルスを吸入するような場合です。

こころの健康のために



高病原性鳥インフルエンザにおいて、感染の拡大を防ぐために防疫作業は非常に重要な業務です。しかし、このたびのような防疫作業に従事された方は、通常経験したことのないストレスから、これまでに感じたことのない気持ちの変化や、体の不調が起きることがあります。

それらは多くの従事者が普通に体験するもので、決して特別なものではありません。

➤ このようなことはありませんか

- 頭痛、めまい、吐き気、下痢、胃痛、動悸、しびれなどがとれない。
- 気持ちが高ぶって寝つきが悪くなったり、途中で目が覚めたりする。
- 食欲が落ちる、疲れやすく、体がだるい。
- 今回の業務の体験に関連した夢を見る。体験した光景が突然繰り返しよみがえる。
- 以前と比べて活力や集中力が低下している。
- 物音などちょっとした刺激にもびくっとしてしまう。
- イライラして、怒りっぽくなる。涙が止まらない。

多くの場合は自然に回復していきますが、回復までに長い時間がかかることがあります。

➤ こころと体の健康を保つために

- 食事や睡眠など日常生活のリズムをなるべく崩さないようにしましょう。
- 眠れないからといってお酒の量を増やすと、かえって睡眠の質は低下します。
- 一般的な成人男性の節度ある適度な飲酒量は、ビールの場合は中瓶1本以内、日本酒の場合は1合以内です。
- ちょっと一休み。全力で頑張りすぎないで、定期的に休みを取りましょう。
- 人と人のつながりを大事にしましょう。ご家族同士、ご近所同士で声をかけ合いましょう。
- 回復の早さは人それぞれ違います。あせらないで自分のペースを大切にしましょう。

➤ 気になることがあったら

- まずは、遠慮しないで職場の上司や健康管理担当者に相談しましょう。
- 医療機関、精神保健福祉センター、保健所、保健センターなどにも相談できます。